

平成 26 年さくら写真コンクール入賞作品選評

「総 評」

今年の応募作品は、

「静岡県内の桜部門」	672 点、222 人	(前年度 544 点)
「富士山と桜部門」	295 点、108 人	(前年度 140 点)
合 計	967 点、255 人	(前年度 684 点)

今年度も「静岡県内の桜部門」「富士山と桜部門」の 2 部門での募集でした。桜の開花も平年並で天候にも比較的恵まれた日が続き撮影条件も良かったのではなかったかと思います。

応募人員 255 名(前年度 194 名) (前々年度 278 名) と前年は応募人員の減少が見られましたが、今年度は応募人員、応募点数とも回復傾向となっています。

内容を見みますと、多少のばらつきはあるものの全体的にレベルは高く、順位の決定には頭を悩ませる状況で、どの作品が上位に行ってもおかしくない素晴らしい作品が多く見られました。

なお、今年是最優秀賞作品と同じ場所で似た条件で撮影された作品がありました。この作品も素晴らしいものですが、両方入賞させられないのがコンテストの辛いところです。

ほんの少しの差で最優秀賞と落選に分かれてしまい審査員一同大変心苦しい結果となりました。

今のカメラは綺麗な写真を簡単に写すことが可能ですが、天候状態や時間帯、画面の構成力などを考慮した上で、作者の気持ちが入った、見る者に感動を伝えられる写真が上位入賞となっていると思います。

作品のプリントの色やトリミングなど最終仕上げにも細心の注意を払って頂きたいと思います。



最優秀賞

部門	部門共通
作品名	提灯桜
撮影地	富士市 龍巖淵
撮影者	中根英治 (埼玉県久喜市)

<選評>

この場所での昼間の写真は毎年応募されていますが、この作品は夕闇迫る薄暮の時間帯に撮影された作品です。

川沿いの土手の桜も提灯でライトアップされた部分と天空の自然光の部分の色の変化が絶妙であり、川の水の流れ、遠景の富士の描写も良く撮影の時間帯が最良であったと思います。

只、ISO 感度を上げたためか空の画質の荒れが少し見られたのが今後の課題でしょう。

「静岡県内の桜」部門



特選

作品名 春の夜のファンタジー

撮影地 南伊豆町

撮影者 山田英雄
(静岡市清水区)

<選評>

南伊豆町青野川の「夜桜流れ星」のイベントの作品でしょう。

川の両側のライトアップされた桜の花と、川面を流れるブルーの光が、幻想的な風景を作っています。夜の撮影条件の悪い中、ベストなカメラポジションと的確な撮影技術により素晴らしい作品になっています。



準特選

作品名 語らう桜

撮影地 富士霊園

撮影者 上野祐司
(神奈川県足柄下郡箱根町)

<選評>

霧の中に静かに佇む二本の桜をとらえています。

まだ芽吹き前の枯れ木の中でやっと春を迎えて花を咲かせた二本の桜が枝を上げ喜びを語り合っているように作者は感じたのでしょうか、とても素直に表現しており好感が持たれます。全体の淡い色調の中で桜の花が生き生きと描写されており静寂感と共に上品な雰囲気良く描写されています。



準特選

作品名 桜マラソン

撮影地 島田市家山

撮影者 杉山 豊
(掛川市)

<選評>

雨の日のマラソン大会の作品です。

大粒の雨の中、桜並木の道をカップを着たランナーが走ってきます。雨はランナーにとって悪条件ですが、カメラマンにとってはチャンス到来です。晴天の日ならばこんなに良い作品が撮れたかどうか疑問です。

カメラポジション、ランナーの配置、桜の花の入れ方など画面構成も見事です。

「富士山と桜」部門



特選

作品名	春景
撮影地	沼津市
撮影者	佐藤美栄子 (静岡市駿河区)

<選評>

駿河湾を挟んだ西伊豆(沼津市)からの作品です。

撮影条件もよく完璧な富士と桜の風景です。画面構成、発色、撮影技術も素晴らしい作品で作者は昨年もこの部門で特選を受賞しているベテランです。

常に良い作品を創られるということは日頃から大変な努力をされていることと思います。



準特選

作品名	海辺を飾る
撮影地	沼津市井田
撮影者	望月裕士 (藤枝市)

<選評>

この作品も駿河湾を挟んだ西伊豆井田(沼津市)から撮影した作品です。

中判カメラとフィルムを使い撮影していますが、少し露出を切り詰めたら発色も濃くなり力強い絵になったと思われれます。



準特選

作品名	春爛漫
撮影地	富士宮市
撮影者	筒井章 (伊東市)

<選評>

オーソドックスな画面構成であるが、桜を画面一杯に入れて下部に富士を小さめに入れたことでまさに春爛漫の情景になったと思います。

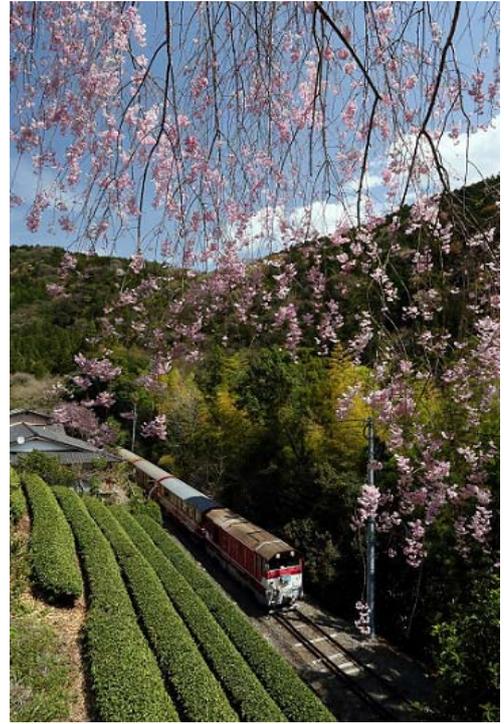
欲を言うならば画面の左側部分、桜の幹の太い部分と緑の木をカットするとスッキリした絵になると思います。

色彩的にもブルーとピンクの配色が春らしい雰囲気をよく出しています。

	特別賞※	
	作品名	ハイウェイを見下ろして
	撮影地	静岡市清水区庵原
	撮影者	望月正晴 (静岡市清水区)
<p><選評> 桜の花の間から、新東名高速道路清水ジャンクションを見下ろして撮影しています。日頃から撮影場所の研究をされているのでしょうか、良い場所を見つけました。 高速道路の美しさを再確認させてくれた作品です。</p>		

※特別賞は、道路利用者会議会長賞

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名 闇夜に浮かぶ
 撮影地 三島大社
 撮影者 市川晴英

作品名 春を巡る
 撮影地 榛原郡川根本町
 撮影者 杉本昌弘



作品名 コイの行方は
 撮影地 三島市
 撮影者 松原智美

作品名 友禅ながし
 撮影地 三島市
 撮影者 鈴木由美子

入 選（静岡県内の桜部門）



作品名	桜日和
撮影地	春野町大時
撮影者	鈴木信子

入 選（富士山と桜部門）



作品名	海辺の春
撮影地	沼津市
撮影者	佐藤泰弘



作品名	漁港の春
撮影地	清水区由比
撮影者	市村廣一



作品名	さんぽみち
撮影地	函南町
撮影者	露木義光

作品名	里山の春
撮影地	富士宮市明星山
撮影者	加藤 昇



作品名	春色に包まれて
撮影地	富士市
撮影者	赤津 栄

コンクールの審査は、四つ切写真での審査を行っております。
本書に掲載している写真は、応募作品のデータですので、応募作品
とは、色調等の相違がありますので、ご了承ください。